

平成29年度全国学力・学習状況調査結果について

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。

2 調査実施日

平成29年4月18日(火)

3 調査対象

小学校第6学年、中学校第3学年

4 集計児童・生徒数

児童数(1,366人) 生徒数(807人)

5 調査内容

(1) 教科に関する調査

ア 主として「知識」に関する問題 … 「国語A」「算数A・数学A」

イ 主として「活用」に関する問題 … 「国語B」「算数B・数学B」

(2) 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

6 調査結果

別添「平成29年度全国学力・学習状況調査結果について(概要)」

7 調査結果の活用

(1) 児童・生徒への個票の返却

(2) 授業改善プランへの反映

8 調査結果の公表

区立小・中学校の調査結果の公表は行わない。

9 今後の予定

9月29日(金) 合同校(園)長会において情報提供

1 集計結果(平均正答率の経年変化・正答数分布グラフ)

■ 目黒区

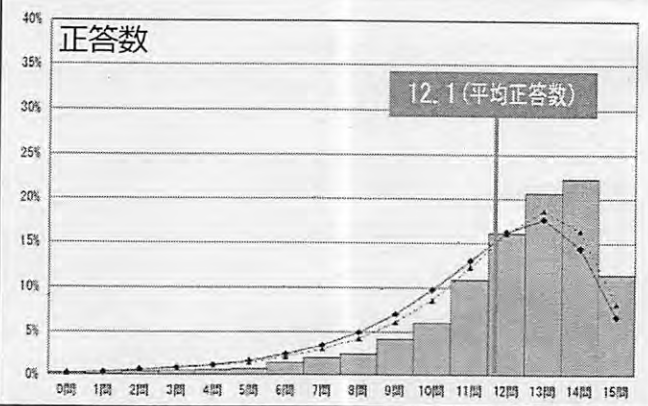
▲ 東京都(公立)

◆ 全国(公立)

小学校【国語A:主として知識】

平均正答率(%)

小学校国語A	目黒区	東京都	全国
平成29年度	81.0	76.0	74.8
平成28年度	78.0	73.8	72.9
平成27年度	77.0	72.3	70.0



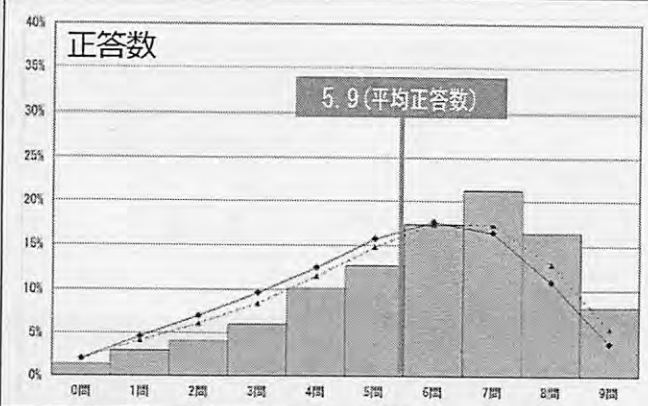
小学校国語Aの結果

- 目黒区の平均正答率(%)は、平成27年度～平成29年度は東京都・全国を上回っている。
- 目黒区の正答数は、平均正答数より右側の比率が高いものの、左側にも広く分布する。

小学校【国語B:主として活用】

平均正答率(%)

小学校国語B	目黒区	東京都	全国
平成29年度	65.0	60.0	57.5
平成28年度	62.9	59.8	57.8
平成27年度	73.0	66.5	65.4



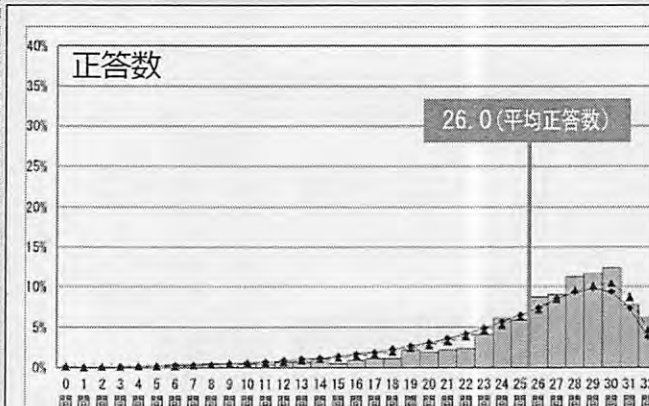
小学校国語Bの結果

- 目黒区の平均正答率(%)は、平成27年度～平成29年度は東京都・全国を上回る。
- 目黒区の正答数は、平均正答数より右側の比率が高いものの、左側の比率はAより高い。

中学校【国語A:主として知識】

平均正答率(%)

中学校国語A	目黒区	東京都	全国
平成29年度	81.0	79.0	77.4
平成28年度	78.6	76.9	75.6
平成27年度	79.8	77.2	75.8



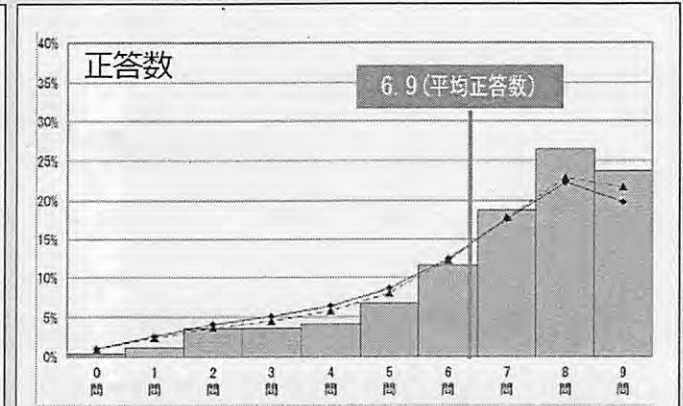
中学校国語Aの結果

- 目黒区の平均正答率(%)は、平成27年度～平成29年度は東京都・全国を上回る。
- 目黒区の正答数は、平均正答数より右側の比率が高いものの、左側にも広く分布する。

中学校【国語B:主として活用】

平均正答率(%)

中学校国語B	目黒区	東京都	全国
平成29年度	77.0	74.0	72.2
平成28年度	70.9	68.6	66.5
平成27年度	69.5	67.0	65.8



中学校国語Bの結果

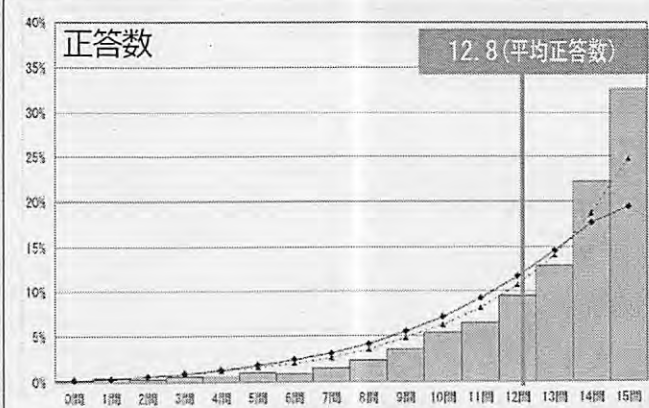
- 目黒区の平均正答率(%)は、平成27年度～平成29年度は東京都・全国を上回る。
- 目黒区の正答数は、平均正答数より右側の比率が高いものの、左側にも広く分布する。

小学校

小学校【算数A:主として知識】

平均正答率(%)

小学校算数A	目黒区	東京都	全国
平成29年度	85.0	81.0	78.6
平成28年度	83.0	79.4	77.6
平成27年度	83.0	77.4	75.2



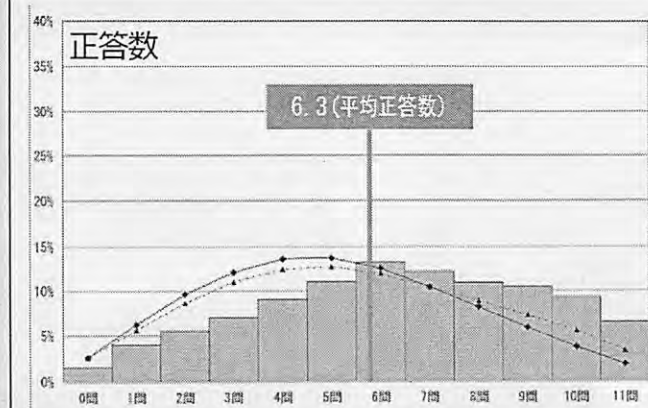
小学校算数Aの結果

- 目黒区の平均正答率(%)は、平成27年度～平成29年度は東京都・全国を上回る。
- 目黒区の正答数は、全問正答の比率が最も高く、左側にも広く分布する。

小学校【算数B:主として活用】

平均正答率(%)

小学校算数B	目黒区	東京都	全国
平成29年度	58.0	49.0	45.9
平成28年度	54.2	49.8	47.2
平成27年度	54.8	47.8	45.0



小学校算数Bの結果

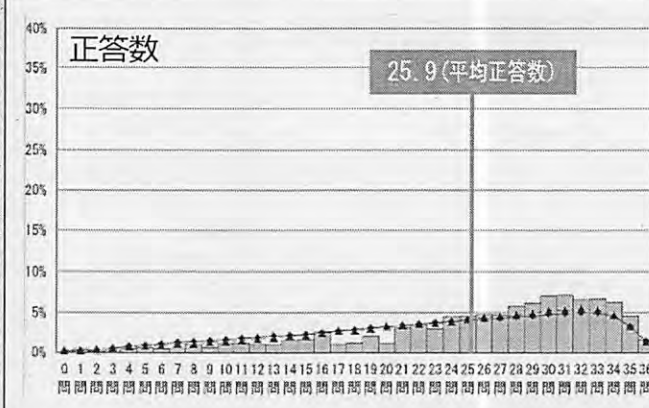
- 目黒区の平均正答率(%)は、平成27年度～平成29年度は東京都・全国を上回る。
- 目黒区の正答数は、算数Aと比較すると山型に広く散在している。

中学校

中学校【数学A:主として知識】

平均正答率(%)

中学校数学A	目黒区	東京都	全国
平成29年度	72.0	66.0	64.6
平成28年度	68.1	63.5	62.2
平成27年度	72.0	66.3	64.4



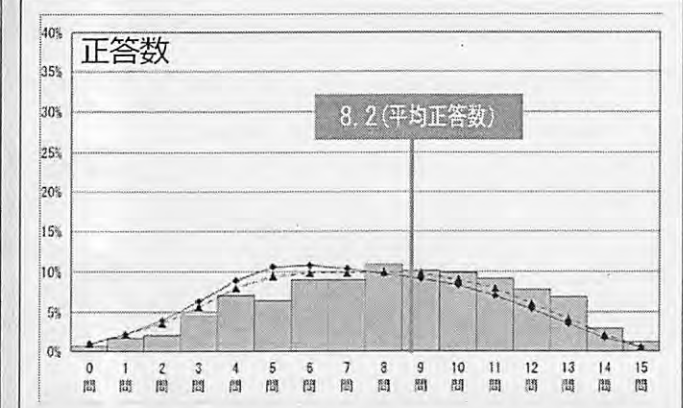
中学校数学Aの結果

- 目黒区の平均正答率(%)は、平成27年度～平成29年度は東京都・全国を上回る。
- 目黒区は正答数が広く散在し、小学校と比較すると二極化傾向にある。

中学校【数学B:主として活用】

平均正答率(%)

中学校数学B	目黒区	東京都	全国
平成29年度	55.0	50.0	48.1
平成28年度	51.0	45.6	44.1
平成27年度	51.6	44.0	41.6



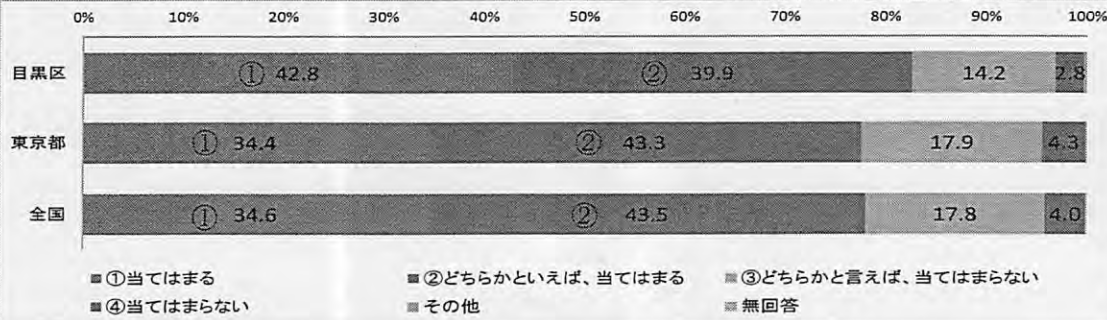
中学校数学Bの結果

- 目黒区の平均正答率(%)は、平成27年度～平成29年度は東京都・全国を上回る。
- 目黒区の正答数は、数学Aと比較すると山型に広く散在している。

2 質問紙調査結果

① 5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか。

選択肢	①	②	③	④	その他	無回答
目黒区	42.8%	39.9%	14.2%	2.8%	0.0%	0.3%



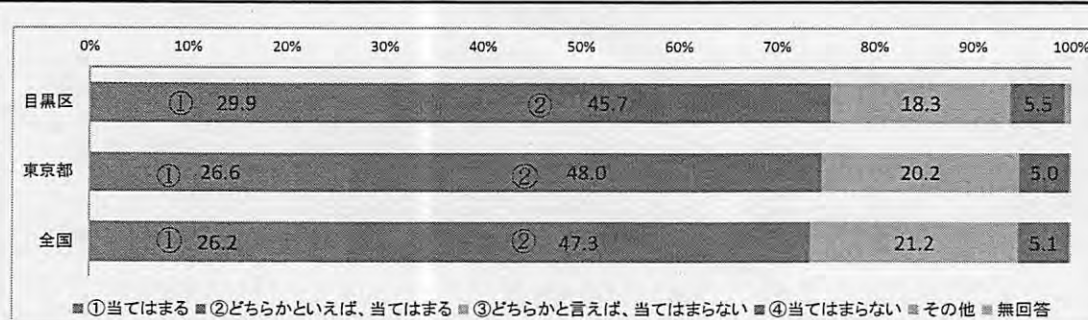
【児童の実態】

①「当てはまる」、②「どちらかといえば、当てはまる」に回答した児童の平均正答率は他の選択肢に比べて高い。

目黒区
①「当てはまる」、②「どちらかといえば、当てはまる」に回答した児童数の割合は82.7%で、全国より4.6%、東京都より5%高い。

① 1, 2年生のときに受けた授業で、生徒の間に話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか。

選択肢	①	②	③	④	その他	無回答
目黒区	29.9%	45.7%	18.3%	5.5%	0.0%	0.6%



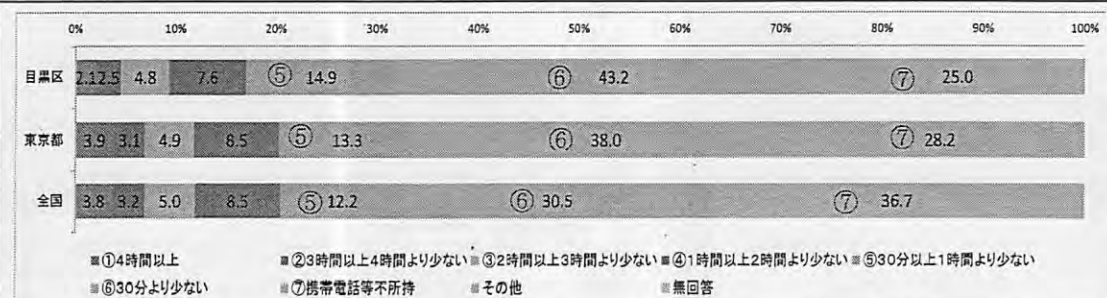
【生徒の実態】

①「当てはまる」、②「どちらかといえば、当てはまる」に回答した生徒の平均正答率は他の選択肢に比べて高い。

目黒区
①「当てはまる」、②「どちらかといえば、当てはまる」に回答した生徒数の割合は75.6%で、全国より2.1%、東京都より1%高い。

② 普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(当該機器を使ってゲームをする時間は除く)。

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	その他	無回答
目黒区	2.1%	2.5%	4.8%	7.6%	14.9%	43.2%	25.0%	0.0%	0.0%



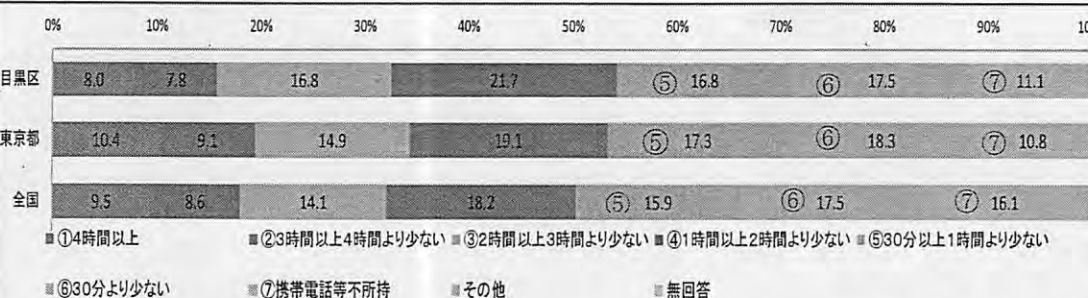
【児童の実態】

1時間より少ない使用を示す選択肢⑤～⑦の児童の平均正答率は他の選択肢に比べて高い。

目黒区
1時間より少ない使用を示す選択肢⑤～⑦の児童数の割合は83.1%で、東京都・全国より約3.5%高い。

② 普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(当該機器を使ってゲームをする時間は除く)。

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	その他	無回答
目黒区	8.0%	7.8%	16.8%	21.7%	16.8%	17.5%	11.1%	0.4%	0.0%



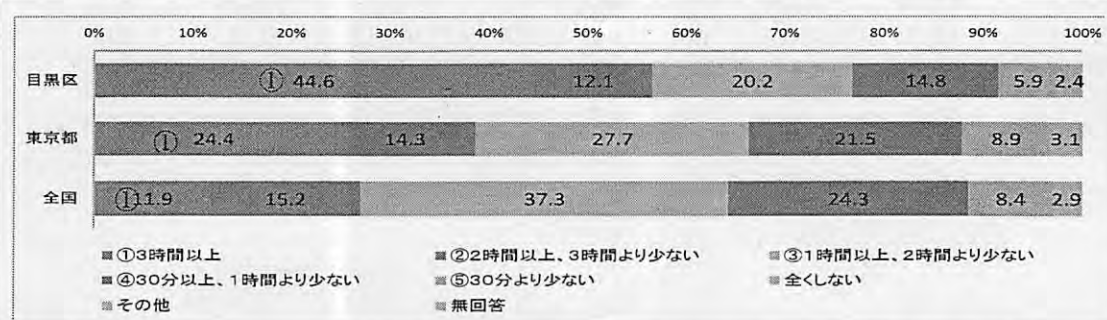
【生徒の実態】

1時間より少ない使用を示す選択肢⑤～⑦の生徒の平均正答率は他の選択肢に比べて高い。

目黒区
1時間より少ない使用を示す選択肢⑤～⑦の生徒数の割合は45.4%で、東京都・全国より低い。

③ 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)。

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥	その他	無回答
目黒区	44.6%	12.1%	20.2%	14.8%	5.9%	2.4%	0.1%	0.0%



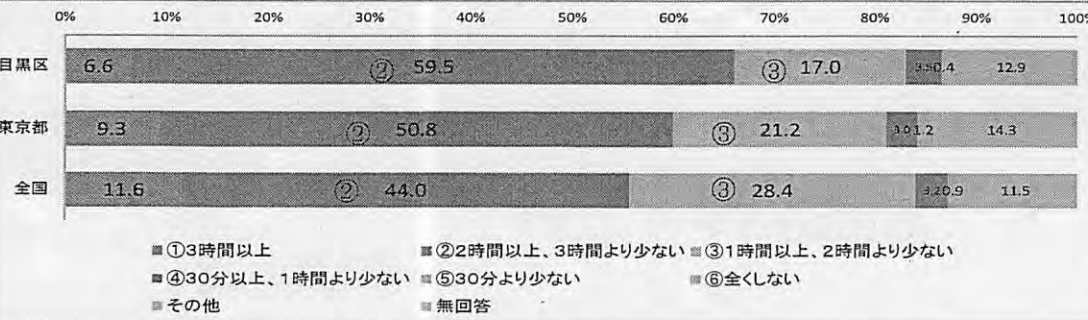
【児童の実態】

①3時間以上勉強している児童の平均正答率は他の選択肢に比べて高い。

目黒区
①3時間以上勉強している児童数の割合は44.6%で、東京都より20.2%、全国より32.7%高い。

③ 普段(月曜日から金曜日)、1日辺りどれくらいの時間、部活動をしますか。

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥	その他	無回答
目黒区	6.6%	59.5%	17.0%	3.5%	0.4%	12.9%	0.0%	0.1%



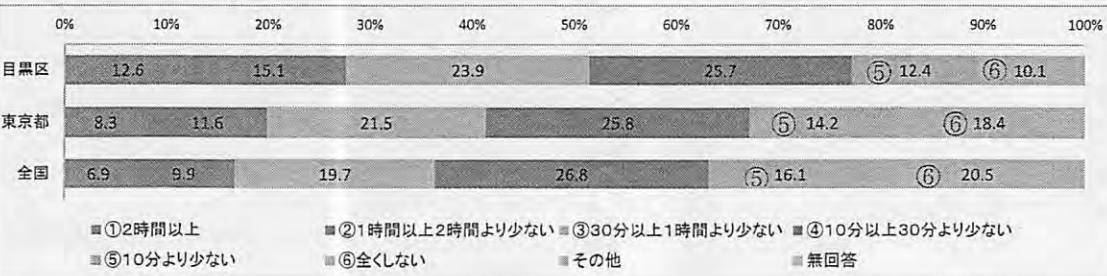
【生徒の実態】

③1時間以上、2時間より少ない時間部活動をしている生徒の平均正答率は他の選択肢に比べて高い。

目黒区
②2時間以上、3時間より少ない時間部活動をしている生徒の平均正答率は他の選択肢より高く、生徒の割合は59.5%である。

④ 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をするか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)。

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥	その他	無回答
目黒区	12.6%	15.1%	23.9%	25.7%	12.4%	10.1%	0.1%	0.2%



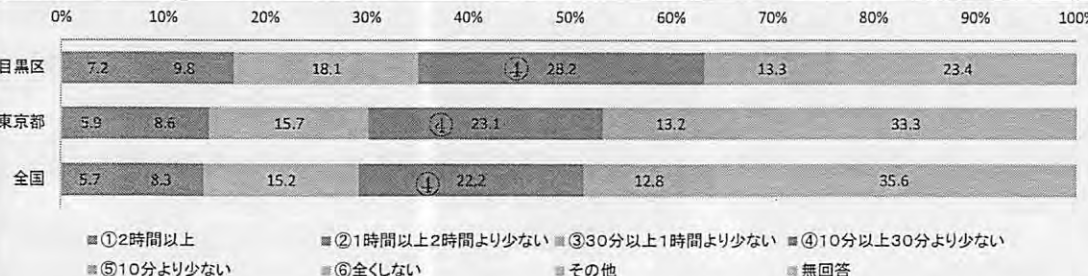
【児童の実態】

⑤⑥10分より少ない時間読書している児童の平均正答率は他の選択肢に比べて低い。

目黒区
⑤⑥10分より少ない時間読書している児童数の割合は22.5%で、全国、東京都と比べて低い。

④ 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をするか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)。

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥	その他	無回答
目黒区	7.2%	9.8%	18.1%	28.2%	13.3%	23.4%	0.0%	0.0%



【生徒の実態】

④10分以上30分より少ない時間読書をしている生徒の平均正答率は他の選択肢に比べて高い。

目黒区
④10分以上30分より少ない時間読書をしている生徒数の割合は28.2%で、東京都・全国より高い。

4 正答率が低い設問別調査結果

小学校

小学校国語A		評価の観点				正答率(%)			無回答率(%)		
出題の趣旨	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	正答率(%)			無回答率(%)		
						区	都	国	区	都	国
手紙の構成を理解し、後付けを書く			○			47.6	42.0	41.5	0.2	0.3	0.3
学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く					○	56.3	43.1	42.0	7.4	12.6	10.6
俳句の情景を捉える				○	○	64.2	60.1	57.0	0.5	0.9	0.7

小学校国語B		評価の観点				正答率(%)			無回答率(%)		
出題の趣旨	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	正答率(%)			無回答率(%)		
						区	都	国	区	都	国
自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える				○		40.6	33.1	28.0	2.9	4.3	3.2
目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く	○		○			41.1	35.3	33.0	2.0	3.5	2.8
目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す	○	○	○			52.8	48.4	48.4	2.4	3.4	2.6

小学校算数A		評価の観点				正答率(%)			無回答率(%)		
出題の趣旨	関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量図形の技能	数量図形知識・理解		正答率(%)			無回答率(%)		
						区	都	国	区	都	国
加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる			○			75.3	70.0	66.6	0.7	0.7	0.6
1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すことができる				○		76.2	75.1	69.9	1.8	2.0	1.8
任意単位による測定について理解している				○		76.7	73.2	70.7	0.4	0.8	0.6

小学校算数B		評価の観点				正答率(%)			無回答率(%)		
出題の趣旨	関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量図形の技能	数量図形知識・理解		正答率(%)			無回答率(%)		
						区	都	国	区	都	国
身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述できる		○				31.4	19.2	13.2	5.6	9.0	8.7
仮の平均値を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述できる		○				35.9	25.7	26.1	12.4	15.1	12.7
直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用することができる		○				38.7	31.8	27.4	5.3	7.0	6.0

中学校国語A		評価の観点				正答率(%)			無回答率(%)		
出題の趣旨	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	正答率(%)			無回答率(%)		
						区	都	国	区	都	国
事象や行為などを表す多様な語句について理解する					○	42.5	39.2	35.8	10.3	13.7	13.1
楷書と行書との違いを理解する					○	48.8	52.1	49.6	0.6	1.3	1.0
相手に分かりやすいように語句を選択して話す		○				60.5	57.7	54.0	4.5	5.2	5.1

中学校国語B		評価の観点				正答率(%)			無回答率(%)		
出題の趣旨	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	正答率(%)			無回答率(%)		
						区	都	国	区	都	国
表現の仕方について捉え、自分の考えを書く	○		○	○	○	45.5	43.5	41.4	9.0	13.3	14.3
相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す	○	○	○			62.9	58.3	57.6	4.2	5.8	5.8
必要な情報を集めるための見通しをもつ	○		○			74.2	70.6	68.8	4.6	7.1	7.4

中学校数学A		評価の観点				正答率(%)			無回答率(%)		
出題の趣旨	関心・意欲・態度	見方や考え方	数学的な技能	知識・理解		正答率(%)			無回答率(%)		
						区	都	国	区	都	国
関数の意味を理解している				○		28.2	20.9	20.6	12.7	22.2	20.6
範囲の意味を理解している				○		32.3	29.5	28.6	6.9	9.8	9.6
与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解している				○		41.8	34.4	34.4	14.6	22.8	20.8

中学校数学B		評価の観点				正答率(%)			無回答率(%)		
出題の趣旨	関心・意欲・態度	見方や考え方	数学的な技能	知識・理解		正答率(%)			無回答率(%)		
						区	都	国	区	都	国
2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができる		○				19.5	15.9	14.0	9.7	18.0	17.7
事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる		○				21.7	17.2	14.5	15.9	24.1	23.4
事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる		○				22.2	19.5	18.4	22.8	32.4	33.4

中学校

1 調査の種類

○目黒区学力調査(目黒区)

- ①目的
学校は、児童・生徒一人ひとりの学力の状況を経年で把握し、調査結果が記載された個人票の返却を通して学習相談に活用するとともに、学習指導の成果と課題を経年比較することにより、組織的な授業改善に取り組む。
- ②調査対象
小2～中3、特別支援学級は原則対象外
- ③調査内容
小2・3(国算)、小4・5(国算理)、小6(国算理社)、中1(国数理社)、中2・3(国数理社英) 小2・3・4・5・6(意識調査)、中1・2・3(意識調査)
- ④実施日(平成 29 年度)
平成 29 年 4 月 13 日(木)
- ⑤調査開始年月日
平成 19 年度

★児童・生徒の学力向上を図るための調査(東京都)

- ①目的
学習指導要領に示されている教科の目標や内容の実現状況及び、読み解く力に関する定着状況を把握する。
- ②調査対象
小5、中2、特別支援学級は原則対象外
- ③調査内容
小5(国算理社)、中2(国数理社英) 小5(質問紙調査)
中2(質問紙調査)
- ④実施日(平成 29 年度)
平成 29 年 7 月 6 日(木)
- ⑤調査開始年月日
平成 15 年度(中学校) 平成 16 年度(小学校)

◎全国学力・学習状況調査(文部科学省)

- ①目的
義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ②調査対象
小6、中3、特別支援学級で下学年の内容等に代替して指導を受けている児童・生徒
- ③調査内容
小6(国算)(A)主として「知識」に関する問題
(B)主として「活用」に関する問題
中3(国数)(A)主として「知識」に関する問題
(B)主として「活用」に関する問題
小6(質問紙調査)、中3(質問紙調査)
- ④実施日(平成 29 年度)
平成 29 年 4 月 18 日(火)
- ⑤調査開始年月日
平成 19 年度

2 調査結果の扱い

- ①個人成績表の返却(6月中旬～)
 - ・個人面談・学習相談で活用(7月下旬～)
 - ・教育指導課より「夏休みの学習フォローアップワークシート」を配布
 - ②授業改善プランの作成・学校 HP 公表
 - ・指導方法等、授業改善に役立てる。
 - ③区 HP 公表(10月上旬)
 - ④教育委員会定例会・常任委員会報告
 - ・教委→8月上旬 文教→9月上旬
- 小学校第2学年以上の児童・生徒を対象に前年度の学習到達度を経年で調査することにより、学力の定着の状況を把握するとともに、学習指導の成果と課題を明確にすることができる。

- ①個人成績表の返却(9月中旬～)
 - ②授業改善プランへの反映
 - ③都 HP 公表(11月下旬)
 - ④教育委員会定例会・常任委員会報告
 - ・教委→11月下旬 文教→12月上旬
- 学習内容や読み解く力の定着状況を把握するとともに、東京都との対比の中で、学習状況等を確認することができる。

- ①個人成績表の返却(9月～10月)
 - ・自校で調査結果を入力
 - ・自校で個票を印刷出力
 - ②自校の調査結果の分析
 - ・区学力調査と併せて、教育課程や指導方法の課題や解決策を明確にし、授業改善に役立てる。
 - ③文部科学省 HP 公表(8月下旬)
 - ※平成 29 年度調査から大学等、国等の行政機関へ調査結果を貸与することが可能となる。
 - ④教育委員会定例会・常任委員会報告
 - ・教委→9月上旬 文教→9月上旬
- 小学校及び中学校の最終学年の学習到達度を把握するとともに、全国との対比の中で学習状況等を確認することができる。

3 学校の取組

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
○調査実施日 4月13日	○回答用紙の業者返送	○個票返却 ○授業改善プラン	○個人面談・学習相談			○授業改善プランHP掲載		教育課程編成		教育課程届の相談	教育課程の届け出

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			★調査実施日 7月6日	★自校採点	★自校個票印刷出力	★調査結果を基に指導法改善	★調査結果を基に教育課程編成	教育課程編成		教育課程届の相談	教育課程の届け出

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
○調査実施日 4月18日	○回答用紙の業者返送				○個票返却	○調査結果を基に授業改善プラン見直し		教育課程編成		教育課程届の相談	教育課程の届け出